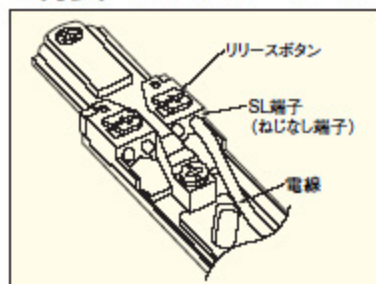


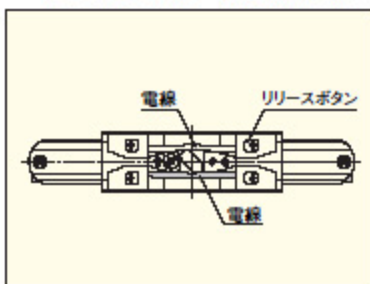
ライティングレール®V形

ライティングレール®V形

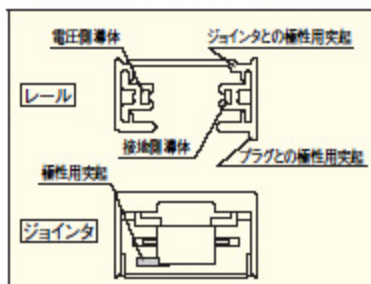
●**特長** ライティングレール®V形は、レールとアタッチメント(埋込枠、吊パイプなど)の組合わせにより「直付」(埋込) (パイプ吊) の3種類の取付ができます。



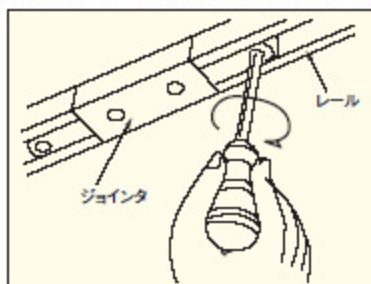
1. レールへの給電が簡単です。
レールへの給電は、フィードインキャップ、ジョインタ(ミニジョインタを除く)いずれから可能です。結線が容易なSL端子構造です。



2. 回路分割が簡単にできます。
ジョインタ内部の電線を両端子からリリースするだけで自由に回路分割ができます。



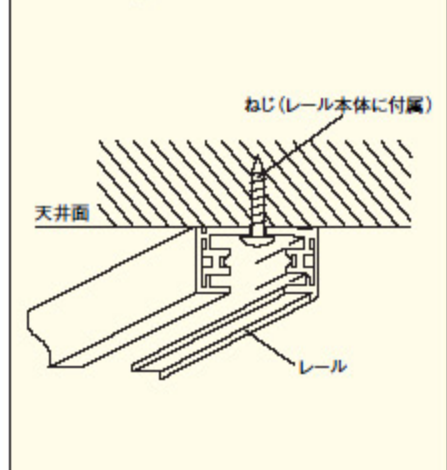
3. 誤配線を防ぎます。
レール本体、ジョインタ(フィードインキャップ、ミニジョインタを除く)には極性チェック用の突起があり、誤配線や短絡事故を未然に防ぎます。



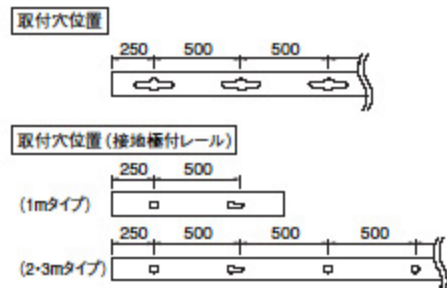
4. すばやくできるレール接続。
レール相互の接続はジョインタを差し込みセット用ねじを締めれば完了です。

●施工方法

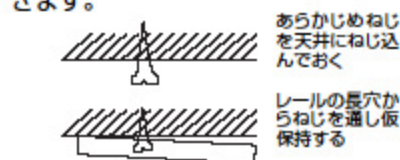
●直付の場合



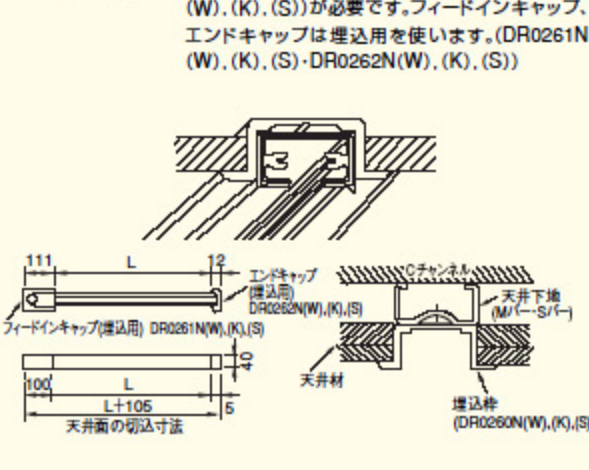
●レールに付属のねじを用いて天井面に直接取り付けます。取付穴の間隔は下図の様に端部から250mmの所と中間部は500mmです。



●二重天井や石こうボードの天井へ取り付ける場合は野縁などの建築構造物に確実に取り付けてください。実際の工事においては取り付ける位置のレールの取付穴の位置へねじのみを天井へねじ込み、あとからレールの取り付け穴の中央からねじを通しレールをスライドさせて仮保持すると、一人で作業ができます。



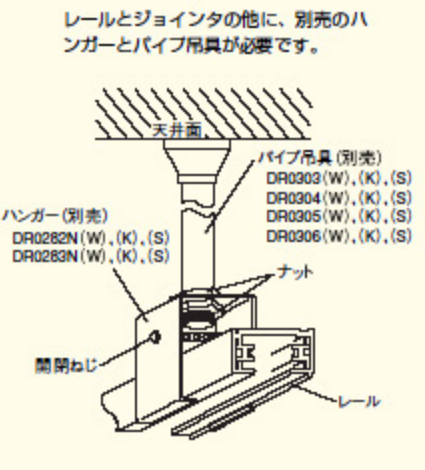
●埋込の場合



●埋込枠を使うことにより、天井面から出っ張りの少ないスマートな取り付けができます。

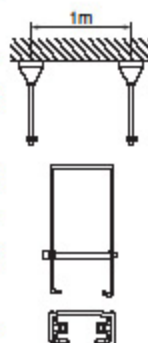
埋込の場合は次の手順で施工します。
①天井に切り込みを入れます。切り込み寸法の中は40mm、長さはレール長+105mmです。
②埋込枠をねじで溝に取り付けます。この場合エンドキャップ側を約5mmあけて埋込枠を固定します。埋込枠には下穴を開けておりませんので天井下地の間隔に合わせてねじで固定してください。軽量鉄骨下地の場合はタッピンねじか鉄板ビスをお使いください。天井材が18mm以上の時は下地との間で寸法を調整してフランジが天井面にくるようにします。
③レールにはフィードイン、エンドキャップ(埋込用)をあらかじめ接続してから、埋込枠に入れて付属のねじで下地等の建築構造物にねじ止めします。
※埋込枠のフランジで天井材を保持しないでください。

●パイプ吊りの場合



●天井よりパイプでライティングレール®を吊る場合には次の手順で施工します。

①天井に別売のパイプ吊具を取り付けます。取り付け間隔は標準1mとしてやむを得ない場合でも1.5m以内とします。
②別売のライティングレールV形用ハンガー(DR0282N(W), (K), (S)等)をレール端部よりレールに組み込みます。ハンガーとレールには極性があります。
③ハンガーの組み込まれたレールを持ち上げパイプ吊具に付属のナットでハンガーをパイプに固定します。
④ハンガーの開閉ねじを締めつけます。

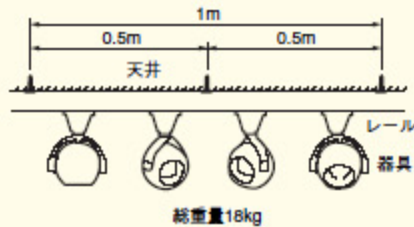


●給電はミニジョインタ以外のジョインタとフィードインからできます。

●ライティングレール®V形に対する器具重量

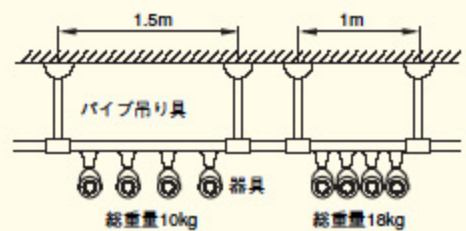
●直付/埋込

付属ねじを50cm間隔で
取付けた場合、レール1m
当り器具の総重量18kg
までご使用になれます。



●施工パイプ吊

パイプ吊具の取付間隔は
標準を1m、器具の総重
量18kgまで、最長1.5m
の場合は総重量10kgま
でご使用になれます。



●施設場所の制限

ライティングレール®は、乾燥した屋内の露出場所および点検できるいんべい場所に施設することができます。

●内線規程 3150-4ライティングダクトの施設方法

- ライティングダクトは造営材(壁、床、天井など)を貫通して施設しないこと。
- ライティングダクトと他の配線を接続する部分は、電線が損傷を受けるおそれがないように施設すること。
- ライティングダクト相互及び導体相互は、堅ろうに、かつ、電氣的及び機械的に完全に接続すること。
- ライティングダクトを造営材に取り付ける場合は、次により堅固に取り付けること。
 - a 支持箇所は、1本ごとに2箇所以上とすること。
 - b 支持点間の距離は、2m以下とすること。
- ライティングダクトは、開口部を下向きに施設すること。ただし、次のいずれかに該当するときは、横に向けて施設することができる。
 - a 人が容易に触れるおそれのない場所において、ダクトの内部にじんあいが侵入し難いように施設する場合

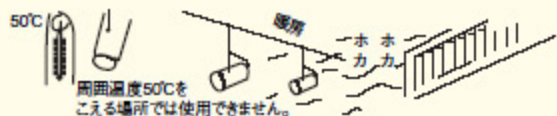
- b JIS C 8366(ライティングダクト)の固定Ⅱ形の規格に適合するものを使用する場合
- ライティングダクトの終端部はエンドキャップを取付けて閉鎖すること。
- ライティングダクトを人が容易に触れるおそれのある場所に施設するときは、電源側に漏電遮断器(定格感度電流30mA以下、動作時間0.1秒以内のものに限る。)を施設すること。

●内線規程 3150-5ライティングダクトの接地

ライティングダクトの金属製部分(導体を除く。)には、D種接地工事を施すこと。ただし、対地電圧が150V以下で、かつ、ライティングダクトの長さ(2本以上のライティングダクトを接続して使用する場合は、その全長をいう。)が4m以下の場合又は合成樹脂その他絶縁物で金属製部分を被覆したライティングダクトを使用する場合には、この限りではない。

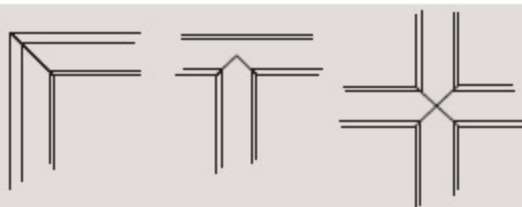
ライティングレール®は屋内専用です。周囲温度が50℃以下のところでご使用ください。暖房装置の近く、湿気の多いところ腐食性ガスのあるところには取付けないでください。

また、クーラーなどの吹出口の近くでは、パイプ吊りの器具や、パイプ吊りのレールが横振れして落下の原因になります。取付位置にご注意ください。

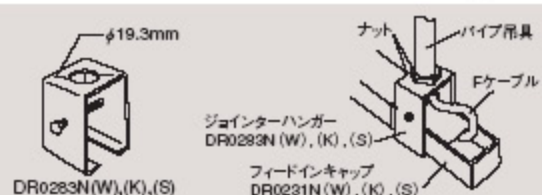


●ご注意とお願い

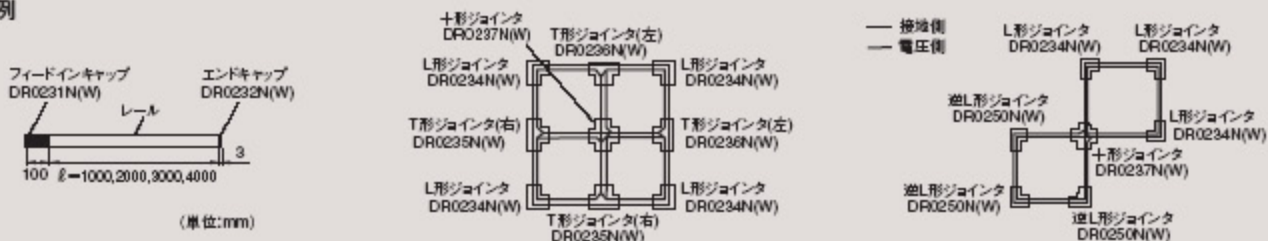
- 埋込で埋込枠をカットする場合、ライティングレール®を「コ」の字「田」の字の様に構成する場合の埋込枠のカットは下図の様にしてください。



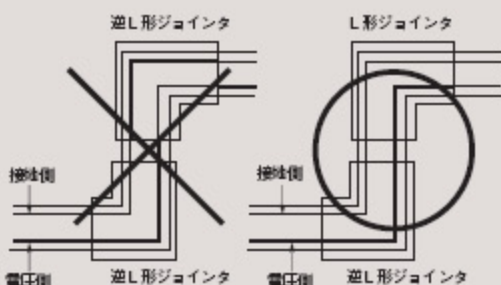
- 吊りパイプからジョインタ部へ給電する場合、ジョインタハンガー(DR0283N(W),(K),(S))をご使用ください。ただしこの場合、ハンガーDR0282N(W),(K),(S)と組み合わせて使うことはできません。(縦寸法が違うため)



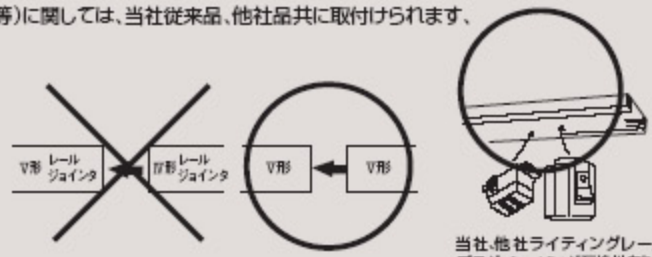
●回路の構成例



ジョインタは方向性がありますので、レールに差込むときはご注意ください。



ライティングレール®V形と生産完了品ライティングレール®IV形はレール、ジョインタ類、共に互換性ありません。但し、レールに取付ける器具(プラグ、シーリング等)に関しては、当社従来品、他社品共に取付けられます。



- ライティングレール®V形には、D種接地工事を施してください。(レールの長さが4m以下の場合を除く。)
- レールを切断する場合は、手ノコをご使用ください。電動カッターをご使用になりますと、絶縁材の塩ビが溶けることがあります。切断後は切粉をとりぬいでご使用ください。(付着して接触不良の原因となります)レール取付穴(長孔<コ>)の部分は避けて切断してください。
- ジョインタ接続をしたレールを取付ける際、レールの一方の端を持ちますと接続箇所は無理な力が加わりますのでご注意ください。